



イベント 終了しました

読書の醍醐味～プロフェッショナルの読書習慣～ 第3回 余白を読む

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>世界で一番短い文学、俳句。省略することによって生まれる余白には、作者の感動や思想、美意識、情趣など様々なものが凝縮されています。読者は表現されたわずかな言葉を手掛かりにそれらを再生産し、句の核となる真理を探究しなくてはなりません。</p> <p>読書のプロフェッショナルをお招きし、読むことの面白さや読書習慣を披歴いただく「読書の醍醐味」シリーズ最終回は、そんな俳句の世界で活躍する講師をお招きし、古今東西の名句を上げ、余白を読み解く楽しさを共に味わいます。</p> <p>※千代田区民・学生の方は参加費が割引となりますので、住所が確認できるものもしくは学生証をお持ちください</p>
日にち	2014年03月18日（火） 18:30から20:00

日にち説明	当日の受付開始 18 : 00～
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
定員	200名（申込順）
参加費用	500円（千代田区民・学生無料）

講師・出演者	黛まどか
プロフィール	<p>■黛 まどか（まゆずみ まどか） 神奈川県出身。1994年「B面の夏」五十句で第40回角川俳句賞奨励賞受賞。2002年、『京都の恋』で第2回山本健吉文学賞受賞。2009年12月・2011年6月上演オペラ「万葉集」、2014年1月・2月上演のオペラ「滝の白糸」の台本を手がける。2010年4月～2011年3月、文化庁「文化交流使」としてパリを拠点に活動。</p> <p>現在、「日本再発見塾」呼びかけ人代表、京都橘大学客員教授を務める。主な著書に『文豪、偉人の「愛」をたどる旅』（集英社）、エッセイ『その瞬間』（角川学芸出版）、エッセイ『引き算の美学』（毎日新聞社）など。</p>

主催	公益財団法人上廣倫理財団
共催	千代田区立日比谷図書文化館

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2014年02月25日 10:00 から2014年03月18日 18:30
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2014年 03月						
	日	月	火	水	木	金	土
							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

発信日

2014.02.20

 印刷

 リストに追加

[ツイート](#)